

特集 ニッポンの社長

プロフェッショナル経営者とトップマネジメントチーム

久保 克行
内ヶ崎 茂
瀬古 進
霧生 拓也 CMA

目 次

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. はじめに | 4. 日本に経営のプロはいるのか |
| 2. 取締役会とトップマネジメントチームの変化 | 5. トップマネジメントチーム改革の実態 |
| 3. 経営者のスキルとプロ経営者の市場 | 6. おわりに |

本稿では、日本企業の経営者およびトップマネジメントチームの現状を分析し、あるべき姿について考察する。具体的には、以下の二つの点について実証的に検証する。一つは、日本にプロ経営者市場が存在するのかということである。もう一つは、日本企業のトップマネジメントチームでどのような改革が行われているのかということである。特に、CEO・CFO等のいわゆるCxO制度が導入されているかに注目する。



久保 克行 (くぼ かつゆき)

早稲田大学商学大学院教授。London School of Economics Ph.D.。主な著書・論文に、『経営学のための統計学・データ分析』（東洋経済新報社、2021年）など。専門はコーポレートガバナンス。



内ヶ崎 茂 (うちがさき しげる)

HRガバナンス・リーダーズ代表取締役社長CEO。早稲田大学大学院法学研究科修士課程および商学研究科修士課程修了。日本で初となるサステナビリティ・ガバナンスの実現を目指すコンサルティング会社「HRガバナンス・リーダーズ」を設立し、日本発の多くのグローバル企業のボードアドバイザーに携わる。



瀬古 進 (せこ すずむ)

三菱UFJトラスト投資工学研究所上席研究員。南山大学経営学研究科博士後期課程修了。博士（経営学）。著書に、『実践 金融データサイエンス—隠れた構造をあぶり出す6つのアプローチ』（日本経済新聞出版社、2018年、共著）など。専門は金融工学、金融データサイエンス、モデルリスク管理。



霧生 拓也 (きりう たくや)

大阪大学大学院経済学研究科講師。慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程修了。博士（工学）。主な論文に、“Estimating forward looking distribution with the Ross Recovery Theorem” (*Journal of the Operations Research Society of Japan* 62、2019年、日本OR学会論文賞受賞) など。専門は金融工学。